

令和5年度「東京都環境影響評価審議会」第2回総会

日時：令和5年5月18日（木）午前10時00分～

形式：Webによるオンライン会議

— 会 議 次 第 —

議 事

1 受理報告

「(仮称)今井土地区画整理事業」環境影響評価書
外7件に係る報告

2 その他

「(仮称)神宮外苑地区市街地再開発事業」環境影響評価書に係る
事業者説明

【審議資料】

資料1 受理報告

資料2-1 日本イコモス国内委員会からの指摘と事業者の回答

資料2-2 審議会委員からの意見と事業者の回答

<出席者>

委員	会長	柳委員
	第一部会長	齋藤委員
	第二部会長	宮越委員
	荒井委員	平林委員
	池邊委員	廣江委員
	池本委員	水本委員
	奥委員	宗方委員
	日下委員	森川委員
	玄委員	保高委員
	小林委員	横田委員
	高橋委員	渡邊委員
	堤委員	

(20名)

事務局 長谷川政策調整担当部長
椿野アセスメント担当課長

受 理 報 告 (5月)

区 分	対 象 事 業 名 称	受 理 年 月 日
1 環境影響評価書	(仮称)今井土地区画整理事業	令和5年4月26日
2 事後調査報告書	国分寺都市計画道路3・2・8号府中所沢線(府中市武蔵台～国分寺市東戸倉間)建設事業(工事の施行中その7)	令和5年3月28日
	イオン東久留米ショッピングセンター(仮称)建築事業(工事の完了後その3)	令和5年3月28日
	京浜急行電鉄湘南線(泉岳寺駅～新馬場駅間)連続立体交差事業(工事の施行中その1)	令和5年3月28日
	光が丘清掃工場建替事業(工事の完了後)	令和5年3月29日
	東京港 国際海上コンテナターミナル整備事業(工事の完了後)	令和5年3月29日
3 変 更 届	(仮称)東京港臨港道路南北線建設計画	令和5年3月29日
	羽田空港アクセス線(仮称)整備事業	令和5年4月4日

受 理 年 月 日
令和 5 年 4 月 26 日

「(仮称) 今井土地区画整理事業」
環境影響評価書案審査意見書と環境影響評価書との関連

項 目	環境影響評価書案審査意見書の内容	環境影響評価書の記載内容
大気汚染、 騒音・振動 共通	本計画において仮囲いは計画地西側のみを設置することとしているが、計画地北側には福祉施設が隣接していることから、造成工事に伴う粉じんや建設機械に伴う騒音・振動等について、施設周辺の仮囲いの設置など、より一層の環境保全措置を講ずること。	北側の配慮施設等に対する粉じん防止対策を追加した。また、仮囲いを設置し、建設機械の稼働に伴う騒音の再予測を行い、関連する図表、文章を修正するとともに環境保全措置を追加した。 【大気汚染】(本編 104 ページ) 【騒音・振動】(本編 136～138、160～162、171 ページ)
水循環	計画地内の公共用地に降った雨水は表面流出量分も含めて地下浸透処理を行う計画としていることから、雨水流出抑制施設の貯留量や十分な浸透性を確保する方法等を含めた具体的な規模や構造を記述すること。	貯留浸透施設の貯留量、浸透井戸に関する記述を追加した。 (本編 211 ページ) 貯留浸透施設の構造図を変更した。 (資料編 201 ページ)
生物・生態系	本事業では計画地内のほぼ全域が改変され、動植物の生息・生育環境への影響が懸念されることから、既存樹木等を可能な限り残置するよう検討するとともに、道路植栽帯や流通施設業務用地内の緑化について、周辺地域との緑の連続性にも配慮した緑化計画となるよう検討し、関係者との調整を図ること。	計画地内の樹林地である 1 号公園のスギ・ヒノキ植林は残存緑地として、更新伐により林内に生育するシラカシ、シロダモ等の郷土種を残存する計画とし、予測結果を修正するとともに、環境保全措置を追加した。 (本編 18、24、278～279、287、288、293 ページ) 緑の連続性確保の観点から、その他(流通業務施設用地)の緑化に関する記述を環境保全措置に追加した。 (本編 18、293～294 ページ)

項 目	環境影響評価書案審査意見書の内容	環境影響評価書の記載内容
生物・生態系	<p>工事の施行にあたっては、移動能力のある生物が計画地周辺の同様な環境への逃避、移動するものと予測しているが、工事の施行順序によっては、周辺環境への移動が阻害されるおそれがあるため、移動能力のある生物が周辺地域の好適環境に分散できるよう、工事の施行順序を検討し、生物・生態系に与える影響の低減に努めること。</p>	<p>動物の移動に配慮した段階的施工手順を明確化し、動物の予測結果を修正するとともに、環境保全措置に追加した。</p> <p>(本編 23、281～283、293 ページ)</p>